



外国出張報告書

平成 25 年 12 月 24 日

1. 出張国名 モザンビーク、ガーナ、ケニア

2. 出張月 平成 25 年 9 月～11 月

3. 出張目的
 - ① JICA 技プロ「ナカラ回廊農業開発研究・技術移転能力向上プロジェクト」における研究調査ならびに副リーダー業務：B
 - ② 大臣官房受託事業「アフリカの土壌肥沃度改善検討調査」における研究調査、特にガーナでのワークショップ開催とマニュアル作成：B

4. 成果の概要

JICA モザンビーク技プロの専門家としての活動を行った。

すなわち、①次季の圃場試験を農家圃場でも実施するため、カウンターパートである IIAM の普及担当の研究者とともに、州の農業局 (DPA) や郡の普及組織との調整を行い、一部協力農家への訪問も実施した。

②プロジェクトの中間評価ミッション(コンサルタントならびに JICA) に対し、情報提供を行うとともに、PDM の改訂や勧告の策定についての議論に参加した。

③ケニアのナイロビで行われたサブサハラアフリカ農業・農村開発専門家会合に参加した。

この間、モザンビークからいったんガーナに移動し、大臣官房受託事業の最終ワークショップをタマレ市で開催した。休日と重なったが、関係者のみならず食糧農業省の本部や地方出先機関の代表や学生も出席し、水田肥沃度向上のための技術とその普及について議論がされた。また会議参加者は、翌日にこれらの技術を実践しているデモンストレーション農家を訪問した。